

**提出機関**：チューレーン自然霊長類研究センター（USA）

**患畜**：サル（インドアカゲザル、*Macaca mulatta*）、雌 20歳

**病歴**：2か月にわたる嗜眠・体重減少（3Kg）、陰核の拡大、膣出血、再生性貧血、左下腹部腫瘍（7×7cm）、超音波で腫瘍内に多数の円形の腔、治療したが予後不良で安楽殺。

**肉眼病変**：削瘦、脱水、下腹部に大きな硬い腫瘍。

腹部腫瘍の上部皮下組織は暗赤色で水腫。

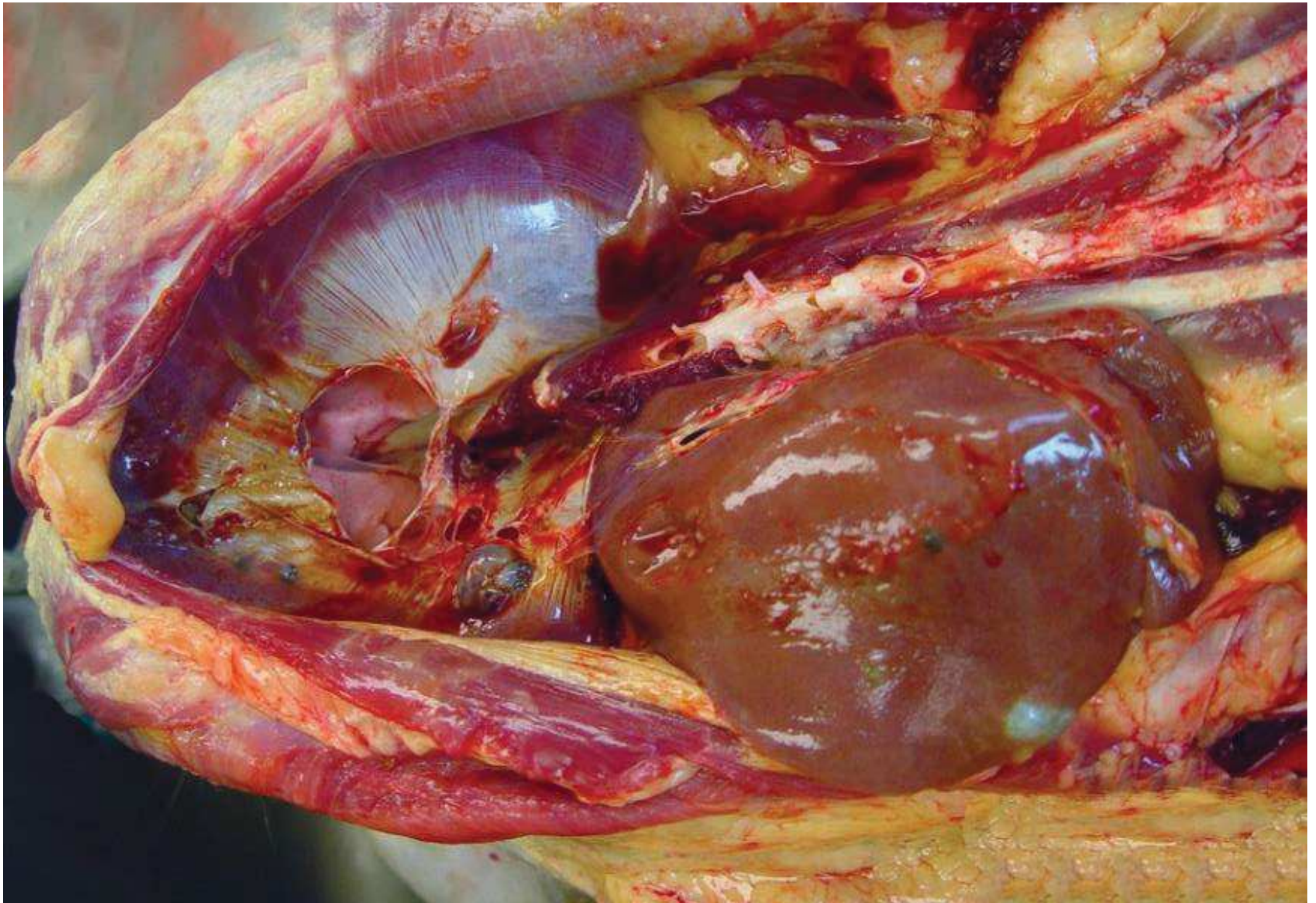
暗赤色嚢胞腫瘍が子宮～腹壁に広がり卵巣、卵管、結腸漿膜に癒合（直径15～20cm）。

多量の暗赤色液体を含む大小様々な嚢胞腫瘍は横隔膜、肝臓、腸間膜でもみられた。

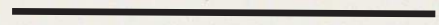
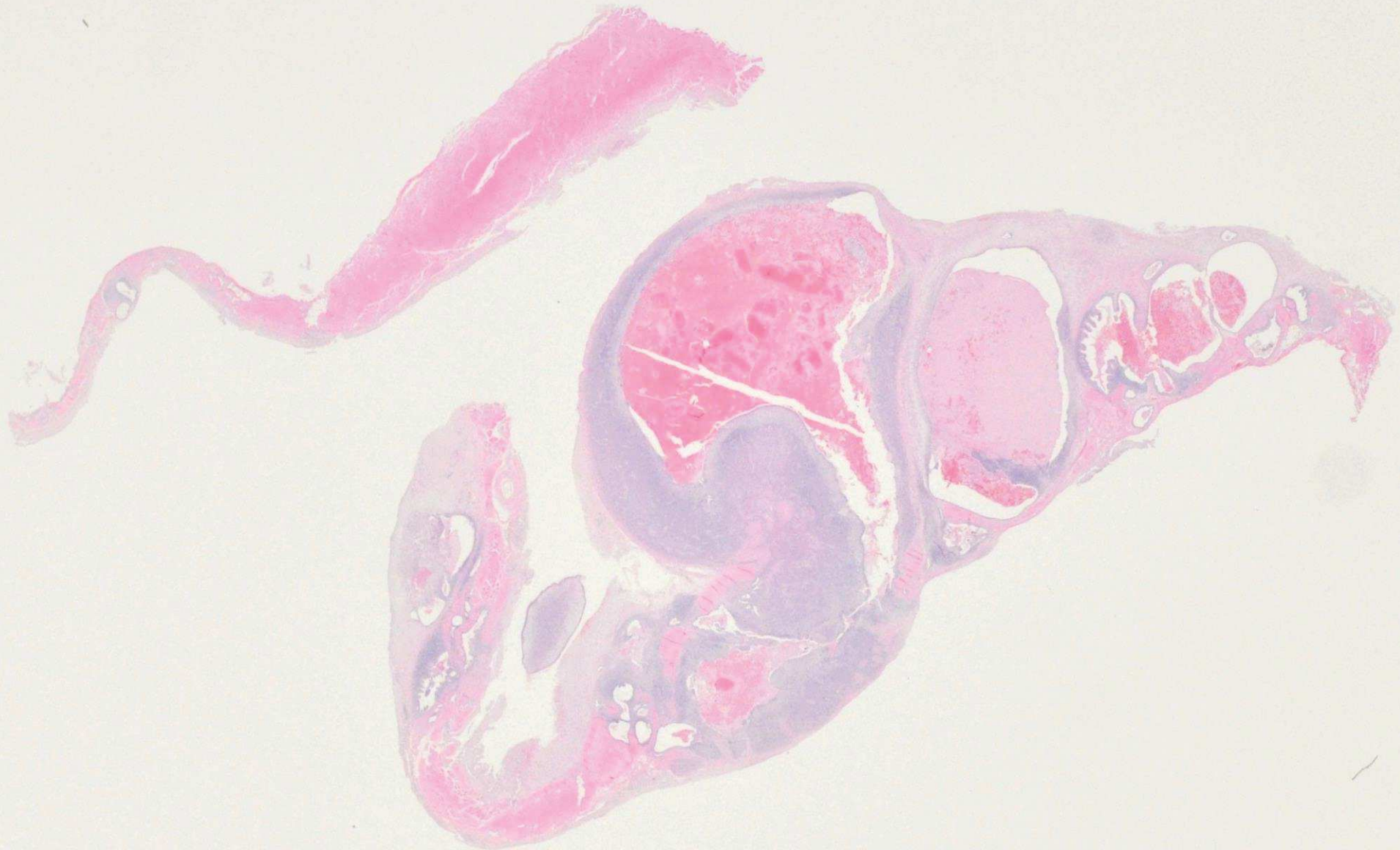
横隔膜腱部中心は脆弱で圧で容易に破れる。

重度の胸腺萎縮、軽度の両側性水腎症。

**実験室内検査**：N/A

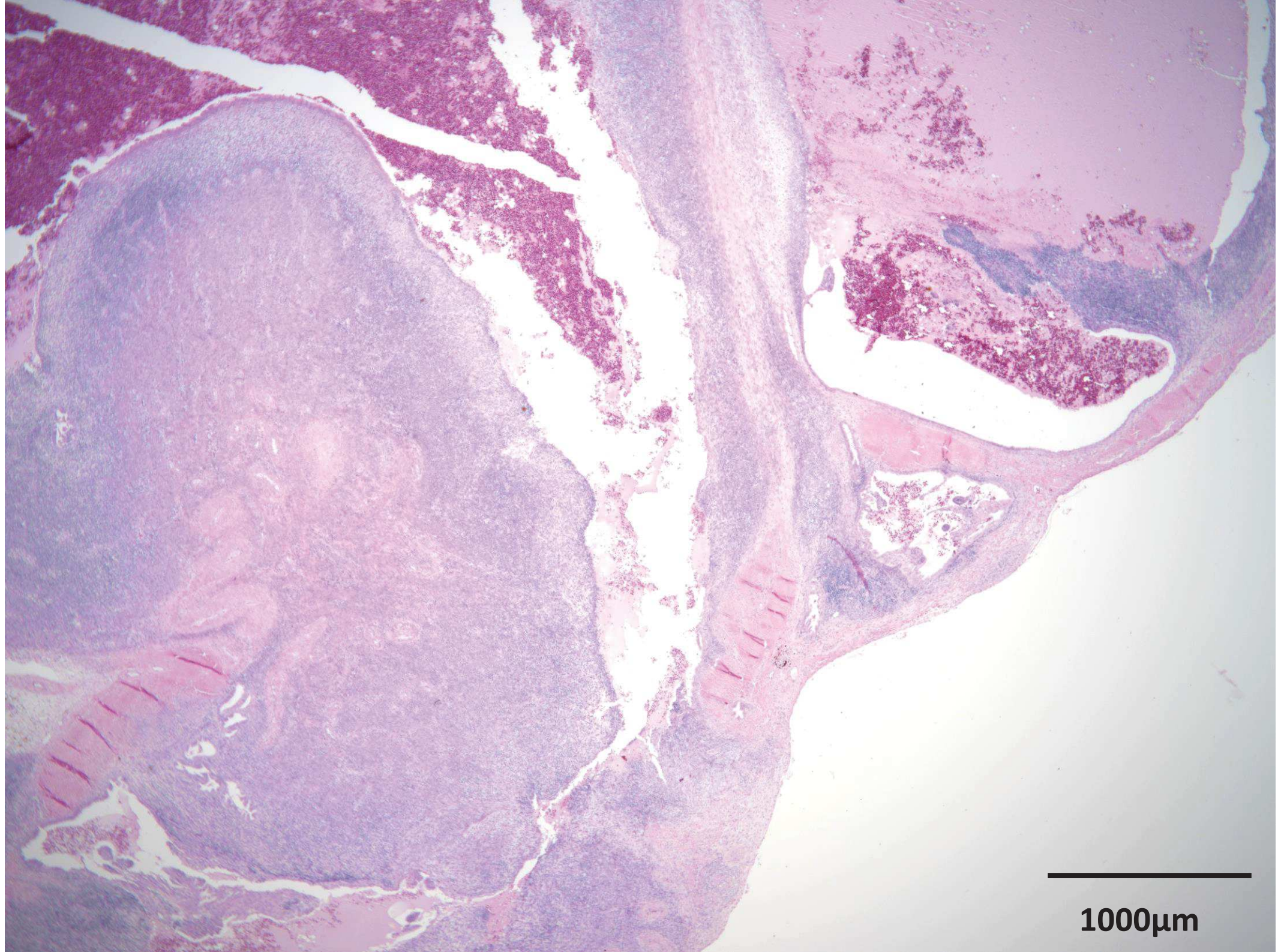






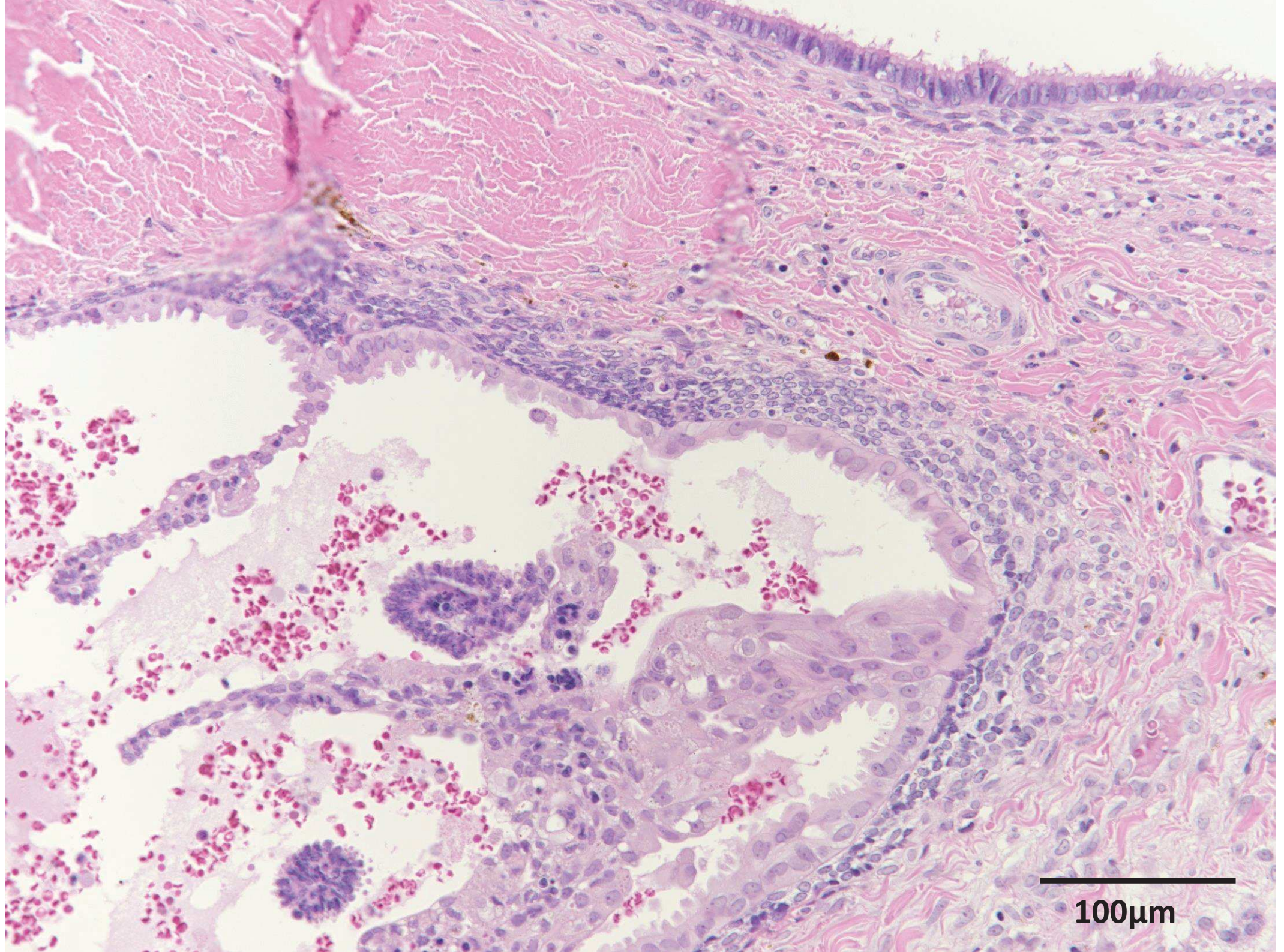
5 mm





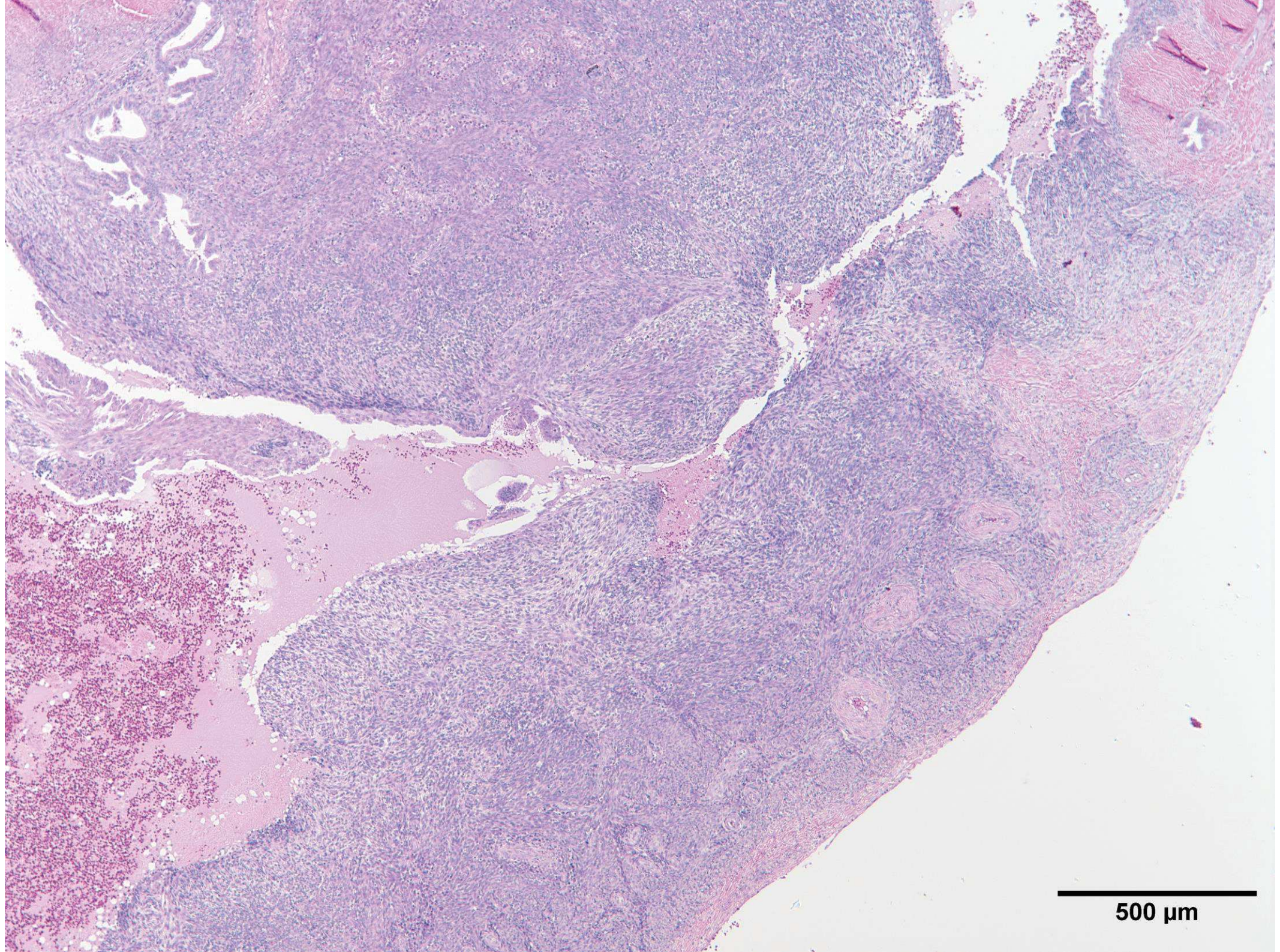
1000 $\mu$ m





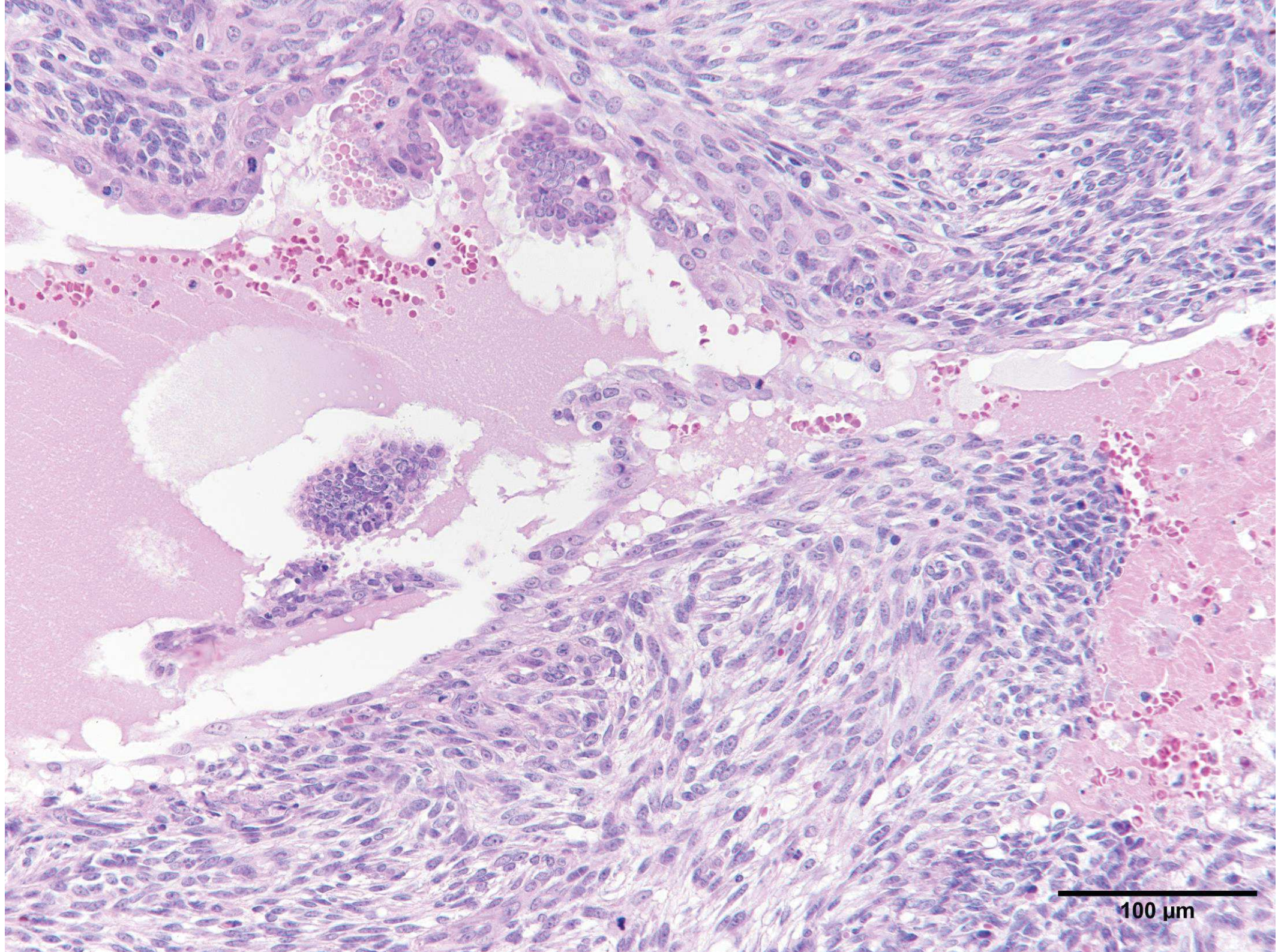
100µm





500 μm





100  $\mu\text{m}$



## 提出者の診断

- ・ 横隔膜、子宮内膜症
- ・ Diaphragm, Endometriosis.

## JPCの診断

横隔膜：子宮内膜症、アカゲザル

Diaphragm: Endometriosis, rhesus macaque, rhesus macaque, Macaca mulatta.



## 提出者のコメント

- ・子宮内膜症は骨盤内で生じるものが多く、卵巣や子宮広間膜、骨盤が一般的で横隔膜は珍しい。

### 異所性子宮内膜症

ヒト：臍、皮膚、膣、外陰部、子宮頸部、鼠径管、腹膜上部、肝臓、脾臓、消化管、泌尿器、乳房、胸膜腔、脳、眼球、リンパ節、肺、心膜で報告。

アカゲザル：胸膜で報告。

スーティーマンガベイ：肺で報告。



### 病変形成の過程（一説）

**Sampson's three-fold transplantation** 仮説

逆行性月経で剥離した子宮内膜細胞が卵管から腹膜を通り異所性に増殖



# JPCコメント

## 子宮内膜症

- ・子宮外において高分化な子宮内膜腺や間質がホルモンに反応して出現。
- ・霊長類で一般的な疾患。ゾウトガリネズミ、コウモリ的一种でも稀に報告。
- ・大多数の症例は腹腔内で生じ、慢性では線維性癒痕、血液を貯留したチョコレート様嚢胞が確認される。
- ・免疫組織化学的検索ではパンサイトケラチン、ビメンチン、エストロゲン受容体、プロジェステロン受容体が陽性。

## ヒトでない霊長類でのリスク要因

- ・生涯をとおして不断性発情周期をもち、子宮内膜の代謝回転が多い。
- ・10歳以上は素因になりやすい。
- ・閉経を欠くため子宮内膜症に発展しやすい。
- ・腹部外科処置によるエストラジオール移植片。

## 類症鑑別

- ・類内膜癌

類内膜癌は腺構造が不規則で間質がほとんどなく、核異型が顕著。

- ・中皮腫、癌腫症

子宮内膜の脱落膜化は非腫瘍性であるが、肉眼・組織学的には類似。脱落膜間質は、ビメンチン、CD10、プロジェステロン、エストロゲンが陽性を示し鑑別可能。